ひろしま国際交流・協力情報誌
編集・発行／公益財団法人ひろしま国際センター

HIC通信

Vol.125
October 2024
Hiroshima International Center

外国人留学生と高校生の文化交流（広島県立加計高等学校）

目 次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」
P3 事業報告
交流部
広島県留学生活躍支援センター
ひろしま留学大使の紹介
P7 HIC世界体験デーのお知らせ
P8 留学生インタビュー
P9 研修部トピックス
P10 コラム
Hello Hiroshima
イベント・講座案内
Upcoming Event News
P11 JICAレポート
こちら JICA 中国

県内留学生が紹介！

私の国と日本

韓国編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！

留学生紹介

Kim Yewon（キム イェウォン）さん

こんにちは。キムと申します。2022年から近畿大学工学部情報学科に入学し、現在は3年生です。“キム”という名字から察した方もいると思いますが、私の母国は韓国で、地元はプサンです。プサンを少し紹介すると、ビーチがきれいな地域で世界でも有名な大規模港湾都市です。日本でよく韓流という単語を耳にしますが、今回の記事では実際に韓国では今何が流行しているのかと私の留学生活に関して書こうと思います。

韓国の食べ物の流行について

2024年最近流行っている食べ物は「ドバイチョコレート」と「ヨアジョン」です。「ドバイチョコレート」はチョコの中にピスタチオスプレッドとカダイプ麺という細い麺が入って独特な食感がするチョコレートです。YouTubeではドバイチョコレートを実際に作る動画が一つのコンテンツとして成り立っています。コンビニでも商品化されて売られていますが、単価が高いわりに食感の再現があまりできてないという声も出ています。ドバイチョコレートをアレンジしてピスタチオスプレッドとカダイプ麺をお餅に入れた「ドバイ餅」も新しく人気が出ています。「ヨアジョン」はヨーグルトアイスの店の名前です。ヨアジョンはトッピングの選択の幅が広くて自由に味をカスタムできるというところでよく売れるようになりました。ちなみにトッピングは50種類あり、アイスの上にかけるソースは10種類でカスタムできるパターンが多いです。そのため、SNSではヨアジョンカスタムのおすすめの投稿が活発です。

「ヨアジョン」のヨーグルトアイス

学生生活の違いで驚いたこと

私の周りには日本人が多くてよく韓国と日本の違いを感じています。違いは何個かありますが、一番驚いたところは学生生活の違いです。韓国の高校は勉強を優先するため、夜行自律学習（授業が終わってから教室を利用して学生が自習できるようにする制度、通称ヤザ）を実施していて1・2年生は21時、3年生は22時に帰宅します。この内容だけ聞くと韓国の学生生活は楽しくなさそうに見えますが、私の高校を含めた大半の高校はヤザの時間に家から持ってきた具材を集めてみんなでビビンバを作ったり、職員室の冷凍庫を借りてみんなでかき氷を作ったりしました。日常と違った特別感があってその時だけ味わえる楽しさではないかと思います。一方、日本は授業が終わった後は部活に力を入れる印象が強いです。そのため、勉強だけではなく色んな方面で視野が広がってより多様な発想ができます。よく日本のアニメやドラマには部活の青春を描いたシーンが登場していて、それを見た高校時代の私は日本の学生生活に憧れを持ちました。

ヤザの時間に作ったかき氷

留学生活で大変なことや楽しいこと

私が最初日本に来て大変だった瞬間は病院に行く時でした。病名と症状を日本語でうまく伝えられなくて困った経験があります。さらに、2年生の5月に自転車事故にあって救急車で運ばれた時はすぐ連絡できる保護者が日本にいなかったため、友達が病院まで来て助けてくれました。こんな大変な思いをしても日本留学を続けている理由は大学の友達です。彼らのお陰で韓国ではできなかった年賀状、バーベキュー、餅つき大会、スイカ割りなど日本の文化をたっぷり味わいながら楽しい留学生活をしています。

餅つき大会

最後に

日本に来てすぐは広島で関われる人が誰一人いなかったため、日本語に対する不安と何かあったときに頼れる人が身近にいないという不安がありました。しかし、今思えば知り合いがいなかったからこそ友達を作りたいという目標意識が高く、自ら行動するようになり、気の合う友達も作ることができたんだと思います。また、韓国と日本の細かい文化の違いを直接体験している私は各国固有の魅力を100%感じられているでしょう。このような経験はこれからいろいろな人と関わっていく中で必ず活かせると思います。

交流部

Report 1　令和6年度 留学生奨学金決定通知書授与式及び第1回奨学生交流会

7月24日（水）に、外国人留学生に対する奨学金決定通知書授与式及び第1回奨学生交流会をTKPガーデンシティ広島で開催しました。今年度は企業協力留学生奨学金38名、県民支援留学生奨学金2名、センター留学生奨学金3名、渡日等留学生支援に係る奨学金10名（前期5名・後期5名）の計53名に奨学金の授与を行います。

今回開催した授与式では、計48名の外国人留学生に奨学金決定通知書授与を行い、ご協力企業・団体から奨学生に直接、決定通知書が手渡されました。

また、長年奨学金事業のためにご支援いただいている5企業に感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。

続いて行われた交流会では、奨学生と企業・団体が懇談し、名刺交換を行うなど改めて支援に対するお礼を伝えていました。

ご寄付をいただきました企業・団体・県民の皆様、誠にありがとうございました。

ひろしま国際センター会長
武田 龍雄

決定通知書の授与

企業の方に自己紹介

話が弾んでいる会場

ご寄付いただきました企業・団体様へ、心より御礼申し上げます

協力企業・団体一覧（敬称略 □数順/50音順）

マツダ株式会社	一般財団法人多山報恩会	医療法人社団ヤマナ会	株式会社あじかん	株式会社アスティ
株式会社ウッドワン	オタフクホールディングス株式会社	株式会社シンギ	株式会社第一学習社	株式会社中国新聞社
中国電力株式会社	株式会社中電工	西川ゴム工業株式会社	広島ガス株式会社	株式会社広島銀行
一般財団法人広島国際文化財団	広島信用金庫	広島電鉄株式会社	株式会社広島東洋カープ	株式会社プローバホールディングス
株式会社マツダE&T	マツダエース株式会社	マツダロジスティクス株式会社	三島食品株式会社	株式会社メンテックワールド
株式会社もみじ銀行	株式会社モルテン	株式会社いとや	一般社団法人広島県医師会	株式会社福屋
株式会社中国放送	株式会社テレビ新広島	広島テレビ放送株式会社	株式会社広島ホームテレビ	

35年連続協力企業・団体様へ感謝状の贈呈を行いました

マツダ株式会社
広島ガス株式会社
株式会社広島銀行
株式会社もみじ銀行
株式会社モルテン
（敬称略 □数順/50音順）

感謝状の贈呈（右から（株）もみじ銀行様、（株）広島銀行様、マツダ（株）様、武田会長、広島ガス（株）様、（株）モルテン様）

外国人留学生奨学金への寄付を募集しています

外国人留学生への勉学や生活の支援はもちろん、留学生と企業や団体、そして県民の皆様との交流によって、「留学生と広島をつなぐ」という大きな目的があります。ぜひ外国人留学生への温かいご支援をお待ちしております。

企業・団体の協力による奨学金
1口 370,000円

県民の協力による奨学金
1口 5,000円

※□数の制限はありません。留学生には月額30,000円を1年間支給致します。

交流部・研修部

Report 2　叡啓大学の学生がHICの仕事を体験

８月16日（金）から28日（水）までの９日間、叡啓大学からインターンシップ生を受け入れました。

まず研修部で５日間の勤務。初日はひろしま国際プラザの説明の後、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）の準備や、多文化共生についての議論から、沢山の気づきを得てくれました。２日目はJET参加者の受付業務（英語で！）や、JICA日系研修受入先の工房「尾道帆布」訪問など大忙し。尾道帆布では、ブラジルからの研修生の話を直接聞くことができ、外国人を受け入れる研修の意義について考えを深めてくれました。３日目以降は、ひろしま国際プラザ宿泊施設でフロント業務を行い、JICA中国での研修補助業務には他大学のインターンシップ生と一緒に携わったことで刺激を受けた様子。またJETプログラムの日本語ボランティアに交じって会話パートナーとして参加するなど、研修プログラムを十分に体感してもらえました。研修部での最終日には、ひろしま国際プラザをどのように活用したらよいかという課題について、施設やここでの研修内容を踏まえた企画を発表するなど積極的に取り組んでもらいました。

後半4日間は交流部での勤務。まずは交流部がどの様な事業を行っているのかを、担当者から説明しました。研修部と交流部、同じひろしま国際センターですが、事業内容は大きく異なります。交流部はワンペア日本語学習、医療通訳ボランティア派遣、外国人相談窓口、外国人留学生支援などの事業を行っており、内容的に実際に体験してもらうことが難しいため、担当者や外国人相談窓口の相談員との意見交換の中から、外国人が生活する上で抱える課題などを知ってもらえたのではないかと思います。交流部でも最終日には、異文化体験・国際交流ができるイベント「HIC世界体験デー」を通して外国人支援の輪を広げるにはどうしたらよいか、という課題について発表をしてもらいました。言葉の壁ミッションゲーム、国際クイズ大会など、大変興味深いアイディアを出してもらい、これをイベント本番でも実現できるよう、インターンシップ終了後もボランティアとしてお手伝いしていただくことになりました。

今回のインターンシップが、今後の進路選択に役立てたなら幸いです。

インターンシップ生からの感想

このインターンシップを通して、「国際協力」の多様な形に気づくことができたことは、私にとって非常に貴重な学びとなりました。高校生の時に参加した国際協力の模擬体験をしたことがきっかけで「国際協力」に対する関心が高まり、ひろしま国際センターでのインターンシップを希望しました。私が以前抱いていた「国際協力」のイメージは、海外に赴いて現地の問題を解決することでしたが、「国際協力」は広島に住む海外の方々の相談に応じ、サポートを行うことでもあるとインターンシップを通じて気づき、より広い視野で物事を捉える必要があると感じました。これからも学びを深め、異なる角度からの国際協力のあり方を探求していきたいと考えています。また、この経験を通して、私も日本に住んでいる海外の人が感じる壁を取り払う行動をしたいと強く感じました。このような学びを得ることができたことに、ひろしま国際センターの皆様に深く感謝しています。この度は、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

JICA日系研修受入先の尾道帆布訪問

JETプログラムでの日本語ボランティアの様子

国際交流員のエドワードさんと

交流部での課題発表の様子

2024 ひろしま留学大使の紹介

広島留学の魅力を留学生目線で国内外に発信し、地域住民との関わりを通して地域貢献をめざすプログラム
「ひろしま留学大使」のメンバー25名を紹介します！

❶出身国　❷大学名

Maarja Lainevoog
マーリヤ ライネヴォーグ

❶エストニア
❷広島大学

I am a history and civics teacher from Estonia. I enjoy traveling, learning languages and getting to know other cultures, which is also why I joined Hiroshima Study Abroad Ambassador.

肖 楚瑜
ショウ ソユ

❶中国
❷広島大学

ひろしま留学大使として、中国に広島の魅力を広めたいです。特に、広島の素晴らしい風景を自分の目で見て、SNSでシェアして、多くの人に知ってもらいたいです。

楊 小静
ヨウ ショウセイ

❶中国
❷比治山大学 短期大学部

今は大学で幼児教育を学びながら、課外活動をして、生活が充実しています。広島の「美」をSNSで発信し母国である中国や世界に伝えたいです。

武 楠
ブ ナン

❶中国
❷広島大学

私の故郷にはとても美しい草原があります。私がひろしま留学大使に取り組みたい理由は広島の美しさと魅力を世界中の人々に紹介したいからです。

Kelroy Brown
ケルロイ ブラウン

❶ジャマイカ
❷広島大学

I am honored to be a Hiroshima Study Abroad Ambassador because Hiroshima is such a beautiful prefecture with great attractions, friendly people and I want to share that with the world.

呉 思雪
ゴ シセツ

❶中国
❷広島大学

日本の歴史と文化、それぞれの地域歴史の発展は、外国人の私にとってとても興味深くて、私はそれについてもっと知りたいです。自分の力で地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

DO THI MAI
ド ティ マイ

❶ベトナム
❷比治山大学

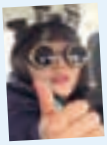
I would like to focus on activities to spread the importance of peace and promote the charm of the region both in Japan and overseas.

孫 超
ソン チョウ

❶中国
❷尾道市立大学

SNSに自分の生活を記録すること、人々と交流することが好きです。ひろしま留学大使として、いろいろなことをSNSで世界の人々に共有し、みんなに広島の魅力を伝えたいです。

Kim Yewon
キム イェウォン



❶韓国
❷近畿大学

今回ひろしま留学大使として任命されたキムです。色んな国籍の大使とコミュニケーションをしながら、地域課題解決に貢献したいです。

HA THI VIET TRINH
ハ ティ ヴィエット チン

❶ベトナム
❷広島経済大学

今年ひろしま留学大使として色んな良い体験をもらったら、まだ知らない人たちに伝えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

陳 国丹
チン コクタン

❶中国
❷広島大学

ひろしま留学大使として、広島および広島大学の環境や魅力を自分の力で世界に発信したいです。異文化コミュニケーションの中で、自分の視野を広げ、課題解決力を養いたいです。

UNE FERNANDES CRYSTIAN AKIRA
ウネ フェルナンデス クリスチアン アキラ

❶ブラジル
❷福山大学

因島にある研究室で大学院生として魚のAIを用いた行動学を研究しています。ブラジルや世界にその魅力伝えて、今はまだ少ない南米からの留学を活発化させたいと思います！

NGUYEN THI THUY AN
グエン ティ トゥイアン

❶ベトナム
❷福山大学

ひろしま留学大使として、宮島などの有名な観光地や、留学生活の個人的な体験について、SNSで共有することで留学したい人たちに役立つと思うので取り組みたいです。

PYAE PYAE KO
ピェー ピェー コー

❶ミャンマー
❷広島経済大学

日本で一人暮らしをして、毎日を勉強と生活で忙しく過ごしています。ひろしま留学大使として一緒にボランティア活動をして、広島のことを深く知りたいです。

Nguyen Phan Hoang Yen
グエン ファン ホアン イエン

❶ベトナム
❷叡啓大学

I aim to foster cultural exchange and build connections between local residents and international students by learning the local culture and sharing mine with others.

Laura Estefanía Martínez Suria
ラウラ エステファニア マルティネス スリア

❶エルサルバドル
❷広島大学

I'm studying a Master's degree in the International Economic Development Program at Hiroshima University. I am excited to be part of the Hiroshima Study Abroad Ambassador (HSAA).

王 可
オウ カ

❶中国
❷広島大学

広島県の留学環境や広島大学の魅力をSNSや様々な活動を通じて国内外に発信し、またイベントなどの参加で自分の力で地域に貢献したいと考えています。

李 菁楠
リ セイナン

❶中国
❷広島大学

A "ちいかわ fan" from China! This character teaches me what emerges faster than tears is courage.

Arvid Schwerin
シュウェリン アルビド

❶ドイツ
❷広島大学

I am studying Smart Energy and Innovation. I'm working for the German International Collaboration Agency and the German parliament and as a consultant. In my free time I practice Aikido, learn tea ceremony and enjoy photography.

李 超
リ チョウ

❶中国
❷広島経済大学

現在は広島経済大学経営学部で学んでいます。趣味は旅行、料理を作ること、食べること。また、書道も得意です。どうぞよろしくお願いします。

Basultan Hidayat
バスルタン ヒダヤット

❶インドネシア
❷広島大学

I love science, but I also love society. Therefore, I am thinking to be a scientist who has good experience in social aspects.

Nwigwe Chinaza Peace
ピース チナザ ウィグウェ

❶ナイジェリア
❷広島大学

As an ambassador, My primary objective as a Hiroshima Study Abroad Ambassador is to inspire and guide students who are considering this life-changing experience.

賀 家豪
ガ カゴウ

❶中国
❷県立広島大学

趣味はギターを弾くことと朗読劇です。政治や国籍に影響されず、人と人との本当のつながりや誠実な関係性を伝えることに取り組みたいです。

王 其其
オウ キキ

❶中国
❷県立広島大学

趣味は料理することですが、山登りやキャンプのアウトドア系も好きです。ひろしま留学大使として1年間、しっかり広島で留学する魅力をみんなに発信したいと思います。

王 競儀
オウ キョウギ

❶中国
❷広島大学

趣味は料理を作ることで、最近小籠包にハマってます。ひろしま留学大使として日本文化を体験しながら多くの人に伝えていきたいと思います。

交流部

Report 3　日本の伝統文化を鑑賞

5月28日（火）に、日本文化理解促進事業として「能楽鑑賞」を開催しました。

この事業は（公財）ひろしん文化財団主催の「第34回青少年のための能楽鑑賞教室」にご招待いただき、毎年実施しているものです。今年度は6ヵ国34名の方にご参加いただきました。

参加した方からは「日本の伝統的な劇を体験できて感動した。」「楽しかったです。テレビで見ましたが、生で見るとすごくすばらしい。」「パフォーマンスにとても迫力を感じた！」等の感想がありました。

能楽の台詞は、少し難しいところもあったようですが、パンフレットの説明も参考に鑑賞されていました。演者の着物や楽器などにも、とても興味をもっていただき、参加者の皆さんにとって日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。

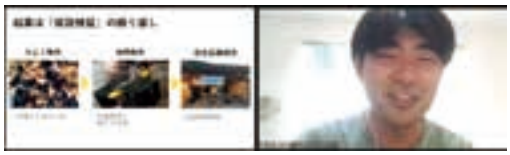
能舞台の前で記念撮影

交流部

Report 4　県内中高生等を対象に国際理解講座「フィリピンの貧困と私たちにできること」開催

6月1日（土）、県内中高生など77名を対象に、第1回国際理解講座「フィリピンの貧困と私たちにできること」をオンラインで開催しました。

講師には、実際にフィリピンの現地で活動されている、BLJ Philippines Inc.代表の峠慶太郎氏をお迎えし、ネグロス島にあるサトウキビ農家に対する貧困支援の実態や、ご自身のこれまでのキャリアなどについてご講演いただきました。


BLJ Philippines Inc. 峠慶太郎氏

受講の様子

講演では、現地の農家の状況について、収入がサトウキビを収穫した際の年一度だけであることに加え、干ばつ等で不作になることもあるため不安定にならざるを得ない実情や、十分な収入がないために必要な教育を受けられなかったり、病気になっても医療費が払えなかったりして借金を背負うことになるという負の連鎖があることなどを教えていただきました。

こうした負の連鎖を断ち切るため、峠氏は、サトウキビで得られる収入のほかに、年間を通じて安定した副収入を確保するため、農家に無償で鶏舎や親鳥を提供し、有精卵を買い取る養鶏ビジネスを始められました。現在の支援体制に至るまで、幾度も仮説検証を繰り返し、多くの失敗も経験しつつ、あきらめず前向きに困難に立ち向かう講師の姿に、参加者の皆さんは大変刺激を受けている様子でした。

講演中、参加者から多くの質問が寄せられ、活発な議論が交わされ、アンケートでも「自分の知らない世界や考え方、生き方を学べる有意義な時間だった。」「たくさんの本を読んで知識をつけたいと思った。」などの感想がありました。

交流部

Report 5　グローバルキャリアセミナー（第1回）を開催しました

グローバルキャリアセミナーとは、広島県内の学生を対象に（一般の方も参加可）、国際機関の仕事に携わる方を講師に迎え、現在の仕事内容や国際機関の仕事に就くための秘訣を語っていただくセミナーです。7月7日（日）にオンラインで開催した第1回は、国連UNITARの部谷由佳氏とUNESCOの森谷香純氏にご講演いただきました。国際機関で働こうと思ったきっかけや仕事のやりがいのほか、参加者に対する具体的なアドバイスや、寄せられた多くの質問へも丁寧に回答していただき、参加した皆さんにとって大変有意義なセミナーとなりました。

第1回グローバルキャリアセミナーチラシ

交流部

Report 6　本場・韓国の味「チムタク作り」で楽しく異文化交流

白ご飯との相性抜群のチムタクと3色ナムル

8月3日（土）に、広島市総合福祉センターで韓国料理教室「おうちで作れる本格韓国料理“チムタク”」を開催し、日本人だけでなく、韓国や中国、インドネシアの方を含めた15名の方にご参加いただきました。

講師は、韓国出身の広島県国際交流員・權賢珍（クォン・ヒョンジン）氏。鶏肉、野菜、韓国春雨を韓国醤油（ジンカンジャン）で煮込んだチムタクや副菜の3色ナムルを、3～4名ずつ4班に分かれて、協力しながら楽しく調理しました。試食中も、韓国の食文化や旅行、美容の話題などで盛り上がり、話がつきませんでした。

参加者からは「料理もおいしく、韓国のことも知れて楽しい時間になった。」「外国の方も参加されていて、異文化に触れる良い機会となった。」といった感想が寄せられ、料理を通じた異文化交流を楽しんでいただけたイベントとなりました。

試食しながら国際交流

交流部

Report 7　「HICキッズセミナー」で世界の魅力を学ぶ

ピニャータ割りを体験

8月17日（土）に、ひろしま国際センターで、親子で参加できるイベント「HICキッズセミナー ～世界の国のことを学ぼう！～」を開催し、27名の方にご参加いただきました。

JICA海外協力隊として活躍された、馬場尚子氏（2004年～2006年コスタリカ派遣）、増田道子氏（2022年～2024年チュニジア派遣）をお招きし、それぞれの派遣国についてお話していただきました。

日本とは全く異なる文化や言語、食べ物、生活の様子など、普段なかなか聞くことができない現地のリアルなお話を、皆さん興味津々な様子で聞いていました。また、クイズやピニャータ割り体験※ なども、みんなで楽しみました。

「いつか行ってみたいと、先生の話を聞いて思いました。（お子さま）」「夏休みなので自由学習にぴったりで、自分から学ぼうとしてくれてよかった。（親御さま）」などの感想が寄せられ、未来の多文化共生社会を担う子どもたちに、異文化や国際協力の実態に触れていただく機会を提供でき、とても有意義なセミナーとなりました。

※ピニャータ：中南米の国でクリスマスや誕生日のお祝い事に使われる、中にお菓子などを詰めた紙製のくす玉のようなもの。

現地のことばであいさつしてみよう

11/3（日・祝）に「HIC世界体験デー」を開催します！

異文化体験や国際交流ができるイベント「HIC世界体験デー」を開催します。
お子さまから大人の方まで、日本人も外国人も一緒に楽しめるイベントです。
ぜひ、HICまで世界の文化を体験しにお越しください。

日　時　11月3日（日・祝）10:00～16:00
参加費　無料
会　場　ひろしま国際センター（HIC）
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
お申込み　不要

※なお、前日の11月2日（土）は、当イベント準備のため、16時に閉館いたします。

催し物（例）
- 外国の遊び、文化体験のワークショップやゲーム
- 外国人と外国語で交流できるおしゃべりコーナー
- ステージ（外国の伝統的な踊りや歌の披露、楽器の演奏など）
- 民族衣装などの試着コーナー（記念撮影もできます）

上記は予告なく変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

留学生インタビュー

令和6年 平和記念式典 献花者インタビュー

令和６年８月６日 原爆の日、県内留学生２名が参列市民代表の一員として献花を行いました。

例年、広島市からの依頼を受け、広島県留学生活躍支援センターから献花者を推薦しており、今年は、王 其其（オウ キキ）さん（県立広島大学）とグエン トゥアン ヴァン チュオンさん（広島経済大学）のお二人でした。

王さんは、中国出身で2011年に来日。現在は県立広島大学の修士課程で、目下、就職活動中。チュオンさんはベトナム出身。2019年に来日し、現在は広島経済大学で経営を専攻しておられます。

また、お二人はともに、広島県留学生活躍支援センターが選ぶひろしま留学大使経験者でもあります。このひろしま留学大使とは、SNSを通じて広島県の魅力や所属する大学の様子を母国を始め、ひろく海外に向けて発信するのが役目で、本県への留学生の受入促進に向けた重要な取組の一つです。

今回のインタビューでは、王さんから献花を終えての感想などをお聞きしました。

――献花を終えられた感想を教えてください。

王）とにかく緊張しました。式典はとても厳粛な雰囲気でしたし、その前のリハーサルも含めてずっと緊張していました。原爆の犠牲となられた方々に対して献花をさせていただくという、大変貴重な経験でした。

――式典の際には、どのようなお気持ちでしたか。

王）言葉で伝えることが難しいのですが、心の底から平和への感謝の気持ちが湧き上がってきました。それは、「感動」というより「祈り」という言葉が一番近いかもしれません。黙とうをしているときに自然とそういう気持ちになり、自分でも驚きました。自分がこうして中国から日本に来て勉強ができているのも、平和だからこそです。そのことを、改めて強く感じることができました。

――これからどんな留学生活を送りたいですか。

王）私の留学生活は、いろいろな方に支えられていると実感しています。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを持ちながら、しっかり勉学に取り組みたいと思います。そして、現在は広島県での就職を目指して頑張っているので、その夢を実現したいです。

献花について「大変貴重な経験だった」と振り返る王さん

献花風景（広島市提供）

Hiroshima International Center

TOPICS 研修部トピックス

ひろしま国際センター研修部で実施した
プログラム・取組みをご紹介します。

その1　2024年度JICA日系社会研修「日本の食文化（お好み焼き）の継承による日系社会の活性化」【JICA中国からの受託事業】

本研修は、ひろしま国際センター研修部が提案団体及び研修受託機関、オタフクソース株式会社お好み焼課が研修実施機関として行われました。研修員は、在ブラジル広島県人会のメンバーの方で、本場の広島にて、基本的な焼き方をはじめ、研修員が課題としていたイベントで大量に作るオペレーションを実戦形式で学びました。ブラジルへの帰国後は、3日間で約20万人が来場するサンパウロで開催される「日本祭り」で、早速研修の成果を発揮されました。

その2　2024年度JICA国別研修「フィリピン・バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト」

本研修は、JICAの平和構築プロジェクトの一環として企画され、ひろしま国際センター研修部が受託機関として、5月29日（水）～6月7日（金）の期間で実施しました。参加者は、フィリピンのムスリム・ミンダナオ・バンサモロ自治地域（BARMM※1）、バンサモロ暫定自治政府（BTA※2）の行政官の方々。

現在は、来年2025年の自治政府設立に向けた移行期間中であり、長年続いた紛争の和平プロセスの最終段階という重要な局面にいます。

この研修では、広島県内の自治体（広島県、東広島市、大崎上島町）等を訪問し、人事マネジメントや人材育成、行政評価手法等を学ばれました。

※1 Bangsamoro Autonomous Region in Muslim Mindanao　※2 Bangsamoro Transition Authority

その3　令和6年度香港専業進修学校／広島スタディツアー

6月12日（水）～6月18日（火）の7日間、香港専業進修学校から参加者10名をお迎えして日本語学習と日本文化体験をする研修を実施しました。マツダミュージアム見学、平和記念資料館見学・平和記念公園散策、お好み焼き作り体験、日本語パートナーとの宮島散策、浴衣着付け・茶道体験、ホームステイ、広島国際大学訪問・柔道体験等を通して、学生たちは広島と日本文化を満喫して香港に帰国しました。また、帰国後に学生たちからメッセージボードが届きました。研修を実施して一番うれしいのは、研修員の皆様からの「ありがとう」「また行くね」の一言です。

その4　防災フェスタ【東広島市からの受託事業】

7月13日（土）、東広島市在住の外国人住民を対象に、防災意識を高めてもらうため、防災フェスタを実施し、27人の外国人が参加しました。

まず、東広島市消防署で、救急車の中を見学したり、「119番通報」の受け答えを模擬体験したりしました。

次に、広島市豪雨災害伝承館を見学しました。この施設は、平成26年（2014年）8月20日豪雨災害の犠牲者を哀悼するとともに、災害の記憶を教訓として継承していきたいという被災者の強い想いで整備されたものです。

日本の災害や防災について知りたいというきっかけで参加した人たちは、ほとんどの人がその目的を達成したようです。

Hello Hiroshima

Vol.125 October 2024

Hello Hiroshima, Edward here!

Edward
(Hiroshima Prefectural Coordinator for International Relations)

Long time no see! The last time we met, spring was just around the corner, but now it's fall again.

Now that it's fall, the weather is finally nice enough for outdoor activities again. For many, that means sports! What sports or other outdoor activities are you looking forward to doing?

I used to be part of a swim team and played tennis when I was a kid, but now I mainly go to the gym. I enjoy going to the gym because when I'm there, I can focus on exercising and not think about anything that might be troubling me for the day. A nice bonus is that working out is also healthy! I went to the gym in America as well, and I have noticed a few differences between gyms in the two countries.

Gym culture in Japan is similar enough to America's to where I don't think anything of it, but there are some differences. For one, there are signs that warn against having exposed tattoos. Tattoos in America are more a form of self-expression or decoration, and don't carry any negative connotations the way they do in Japan. The second thing is that everyone is very diligent on using sanitizing wipes on the machines after they are finished using them. Sanitizing wipes for machines do exist in America, but it is not uncommon for people to finish using a machine without cleaning it afterwards. Another difference is that some gyms in Japan do not allow outdoor shoes unlike in America. Finally, because of all the signs warning against using cell phones, cell phone use is much less in Japan. Cell phone use is generally discouraged in America, particularly phone calls, but some people still use them for texting and taking pictures. Despite these differences, a gym is still a gym, and as long as I can run on the treadmill or lift weights, I have no complaints.

I hope everyone enjoys this nice fall weather while we still can! I also hope that this year's winter is a little more forgiving than last year's!

Upcoming Event News

ユニセフチャリティウォーク「二葉の里歴史散歩～らくらく七福神コース」

二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの案内で、由緒ある神社・仏閣・史跡などを訪ねる「七福神コース」を歩きます。

日 10月26日(土)　時 10:30～12:30(集合/10:00)
場 広島市東区二葉の里地区の神社・仏閣・史跡など(集合場所:饒津神社入口付近 青いユニセフのバナーが目印です。)
定 30名　締 10月23日(水) ただし、定員になり次第締め切り
費 300円(18歳以上)18歳未満・高校生は無料 ※参加費は全額ユニセフ募金とします。
問 広島県ユニセフ協会　担当者：髙田和美　TEL：082-231-8855　mail：unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

JICA海外協力隊

広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！

広島から世界へ！2024年7月1日現在、広島県から派遣のJICA海外協力隊19名が世界で活躍しています！

JICA海外協力隊 2024年度秋期募集中！

2024年10月1日(火)～2024年10月31日(木)

広島にて説明会開催予定！

JICA海外協力隊は、「自分の技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という意志を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象です。今回募集対象となる長期派遣は2年間の任期となります。衣食住を現地の人とともにしながら互いに理解を深め、途上国の課題解決に取り組みます。派遣前の訓練があり、現地での安全対策をしっかりと行っています。JICA海外協力隊というと、特別な経験や豊富な知識が必須と思われがちですが、新卒で参加される方や、数年の社会人経験を経て派遣される方も多くいます。

広島での説明会情報はこちら！

オンライン説明会の情報はこちら！

今の自分を変えてみたい。せっかくならドキドキすることをしてみたい。そう思ったことはありませんか？ JICA海外協力隊なら、好奇心を刺激してくれる経験が必ず見つかるはず。人生なんてきっかけひとつ！ 少しでも興味を持たれた方は、ぜひ広島市、東広島市での説明会やオンライン説明会を覗いてみてください！

JICAのことや世界のこと、なんでも聞いてください！

広島県JICAデスク
新庄（しんじょう） 芳菜恵（かなえ）

JICA海外協力隊の詳細や相談はもちろん、JICAの活動や国際協力全般について、いつでもお気軽にご連絡ください！！

Tel→082-242-8879
E-mail→jica_hiroshima_desk@jica.go.jp
広島県JICAデスク紹介ページはこちら！→

イベントレポート 平和に関するセミナー 2024年7月22日(月)

「フィリピン・ミンダナオと平和 – 日本による平和と開発への貢献」をテーマに、広島大学でセミナーを行い、高校生、大学・大学院生、一般の方々に参加いただきました。本セミナーには、国際協力機構（JICA）東南アジア・大洋州部でミンダナオ平和・開発シニアアドバイザーを務める、落合直之氏が登壇しました。

広島は原爆投下後から劇的な復興を遂げ、来年で被爆80周年を迎えますが、世界では、今もなお発生する武力衝突等により多くの人が犠牲になっています。世界が平和になるために、我々に何が出来るでしょうか。フィリピン南部のミンダナオ地域では、フィリピン政府からの分離独立を目指すイスラム教徒により約半世紀に渡り武力闘争が繰り返されてきましたが、日本政府及びJICAは、和平合意が結ばれる以前から現場に入り、ミンダナオ地域の開発や人材育成を通じ、ミンダナオの平和の実現に協力してきました。

落合氏は、日本政府やJICAがミンダナオの紛争解決を行う意義や、フィリピンの歴史の中でミンダナオの紛争が起こった理由、また日本政府とJICAのミンダナオ和平に向けた具体的な協力等、約30年に渡り現場で活動してきたJICA職員の視点から話をしました。多様な価値観や正義がぶつかる現場で重要なのは「対話」と語る落合氏。どんなに困難な状況でも、フィリピン政府とムスリム側が対話を通じて和平の歩みを進められるよう、両者を仲介し、対話を続けるよう働きかけたと述べました。

参加者からは、JICAの平和に関する取り組みを知ることができたとの声が挙がり、JICAのミンダナオの平和への取り組みを他国で起こる紛争解決にいかに活かすことが出来るかといった質問も寄せられました。

原爆から復興した広島の経験は、これまで沢山の紛争国の課題解決に活かされてきましたが、JICAのミンダナオでの取り組みも一層実を結び、平和への架け橋が更に強固になることを願っています。JICA中国はこれからも、世界の平和を考えるきっかけとして、日本が海外に向けて行う平和の取り組みを発信していきます。

Global Relations Program

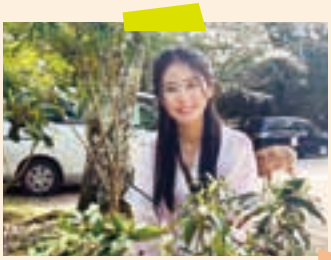
「グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）」参加者の声

HIC article: 孔 苧（コウ ネイ）さん（中国）

Hi, everyone, my name is Kong Ning, I'm from China. Interestingly, my nickname Kalika may be better noted here in Japan. I'm a graduate student at Hiroshima University. For nearly two years, I have been a member of GRP at HIP. As I prepare to graduate this September and embark on the next chapter of my life, I want to reflect on my time in Japan and express my gratitude to HIP, my GRP friends, and all the wonderful staff who made this experience possible. Living at HIP and participating in the GRP has been an incredibly enriching journey. The most significant aspect of my experience has been the friendships I have forged with people from all over the world. I fondly recall the delightful gift of mangoes from Azeem, my friend from Pakistan. These small acts of kindness, like finding little surprises left in the elevator tray by friends returning from trips, brought a unique charm to our daily lives. We enjoyed playing table tennis, badminton, volleyball in well-equipped gym, and organizing various activities and parties, such as the New Year celebration hosted by Kia from Iran and the Halloween party by Nour from Egypt in a big and clean kitchen. The cherry blossom viewing in spring and evening fireworks in summer remain some of my most cherished memories. In this program, we have many opportunities to engage in Japanese cultural experiences. I participated in the Tundo festival, tea ceremonies, calligraphy sessions, and the Saijo Sake Festival, where I had the chance to play traditional Japanese drums. Interacting with Japanese elementary and junior high school students was particularly rewarding. Sharing my culture with them and seeing their amazement made me feel like I was contributing to their understanding of the world. These interactions, combined with meeting people from diverse backgrounds, broadened my international perspective and helped me grow more open-minded and inclusive. In addition to these cultural experiences, the GRP also facilitated my language and academic growth. The Advanced Japanese Language Training Program at HIP significantly improved my language skills.

Moreover, I am thankful for the friendships I have formed with my fellow GRP members. The bonds we have formed are precious, and I treasure the memories we have made. I wish them all the best in their future endeavors and hope their paths are filled with success and happiness.

To everyone at HIP, JICA, and my fellow trainees, thank you from the bottom of my heart. Your support and companionship have made these two years unforgettable. As the poet Matsuo Basho said, "Every day is a journey, and the journey itself is home." Indeed, it has been a delightful journey and GRP is also my unforgettable home in Japan. I believe, in the future, these valuable memories will deeply enrich my life and continue to inspire me.



グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国17名の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊870円　管理費3,500円／月
月額27,860円～30,470円（水道光熱費込み）

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

外国人相談窓口のご案内

外国籍県民が安心して生活し、活躍できる多文化共生社会を実現するため、多言語で対応できる外国人のための相談窓口を開設しています。
相談は対面または電話で行います。

フリーダイヤル（通話料無料） 0120-783-806

対応言語
英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ウクライナ語

一般相談（暮らしに関すること）
月～金曜日　10時～19時
土曜日　9時30分～18時

専門相談（在留資格・社会保険・労働・法律問題など）
木曜日・土曜日　10時～16時
毎月第４木曜日　14時～19時
祝日、12/28～1/4を除く

交流部&留学生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18　広島クリスタルプラザ6F
TEL.（082）541-3777 FAX.（082）243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

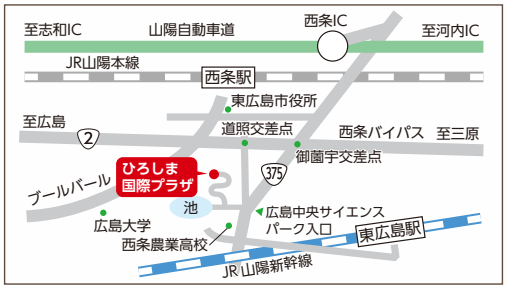
■開館時間
月～金 10:00～19:00　土 9:30～18:00　※令和6年度の11/2(土)は9:30～16:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。

研修部（ひろしま国際プラザ）

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1　ひろしま国際プラザ内
TEL.（082）421-5900 FAX.（082）421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間［情報センター・図書室］
月～金 10:30～12:30、13:30～19:00
土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始（12／29～1／3）はお休みです。
※その他、臨時休室の場合は、HPで随時お知らせします。



公益財団法人ひろしま国際センター　交流部 https://hiroshima-ic.or.jp　研修部 https://hiroshima-hip.or.jp

次号のご案内　次回の発行は、2025年4月を予定しています。